

研究テーマ：メールサーバの構築
4年 050 原 武史

同様に正常に自分のPC同士の送受信が確認された

1、まえがき

普段利用しているメールを管理しているメールサーバの仕組みを理解し、実際に構築することによってより理解を深める

2、研究内容

まず、メールサーバについて調べ、実際に構築してその動作を調べる。そのときに起こる問題点などを考察する。

3、研究方法・結果

まずは、Webでメールサーバの仕組みなどを調べた。「ArGoSoftMail Server」というフリーのソフトをダウンロードし、実際に設定などをして実験してみた。メールソフトはOutlook Expressを用い、自分のPCから自分のPC、また別のPCから自分のPCへの送受信に成功した。しかしここではメールの受信においてPOP3プロトコルを用いた。その結果、送受信の際にメールの本文は暗号化されているが、パスワードが暗号化されずにインターネット上に流れてしまい盗聴される危険性がある。その解決策としてAPOPというプロトコルを用いる。ここで、メールサーバソフトとしてNEONメールサーバを用いる。メールソフトとして、今回はAL-MAILソフトを用いた。今回も最初と

4、まとめ

普段何気なく利用しているメールではあるが、クライアント側ではなくサーバ側から送受信を確認できたのでよりメールについての知識を深めることができた。今回の研究で、送受信の際にセキュリティーの面で気をつけなければ平気でインターネット上にパスワードが流れてしまいパスワードを盗聴されてしまい悪用されてしまうということを学んだ。メールは非常に便利ではあるが、その反面きをつけなければ危険性もあるということがわかった。今回は、Windowsにおいてメールサーバを構築したわけだが、また機会があれば次はLinuxでサーバを構築してみたいとも思った。